

2005年11月25日

2005年度中間決算・2005年度業績予想について



星光PMC株式会社
コード番号 4963

目次

1. 事業概要について
2. 当社の経営戦略
3. 当中間期の事業環境について
4. 当中間期の連結業績
5. 05年度業績予想
6. 財務諸表
7. 中国での事業展開について

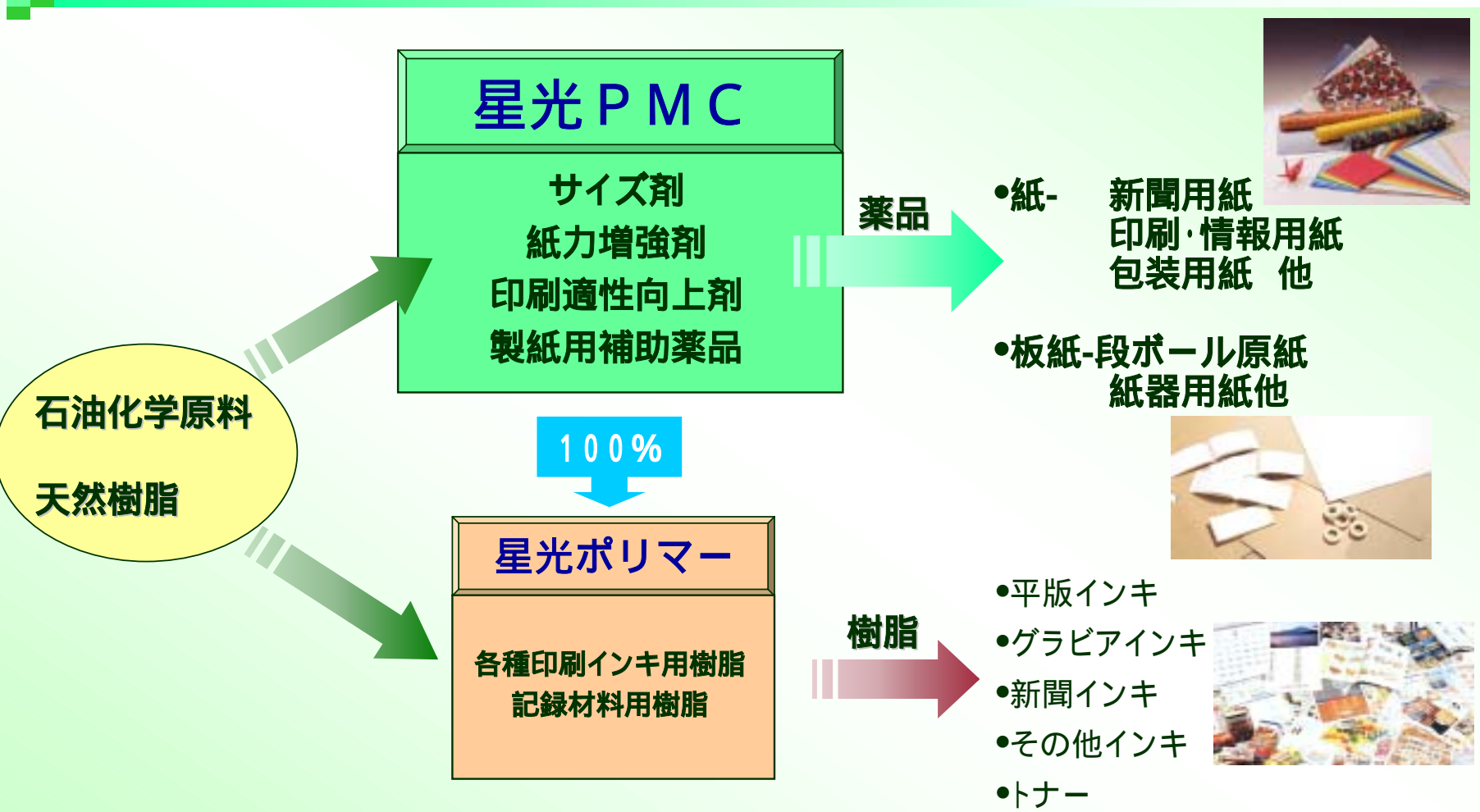
< 予想に関する注意事項 >

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。

1. 事業概要



2 . 当社の経営戦略

(1) 豊富な研究開発投資をベースとした成長シナリオ

製紙用薬品事業: 製紙業界の質的な変化に対応した新規薬品システムの提供

- a . 新聞用紙の中性抄紙化を促進する薬品システム
- b . 板紙のアルカリ抄紙化を可能にする薬品システム
- c . 「インクジェット用紙、嵩高紙、高級ティッシュ」等成長市場に対応した製品開発
- d . 中国市場への進出による地域的拡大

印刷インキ・記録材料用樹脂事業: ユーザー密着の研究開発体制による新規製品の上市

- a . オフセット印刷インキ用樹脂、フレキソ・グラビア印刷向け水性インキ及びコート剤の拡販
- b . 事務機器の世代交代に対応した記録材料用樹脂の開発

(2) 業界の構造強化

(3) 短期的経営課題は、引き続き高騰を続ける原料価格の製品への転嫁

3 . 当中間期の事業環境について

紙・板紙生産数量(国内)

単位:千トン

	2003年度		2004年度		2005年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	前年同期比
紙	9,146	9,355	9,348	9,480	9,421	100.8%
板紙	6,022	6,081	6,051	5,994	6,038	99.8%
合計	15,168	15,436	15,399	15,474	15,458	100.4%

日本製紙連合会 統計資料

各種印刷インキ生産数量(国内)

単位:トン

	2003年度		2004年度		2005年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	前年同期比
平板インキ	74,344	82,296	79,192	83,454	80,938	102.2%
樹脂凸版インキ	12,715	13,060	13,053	12,699	12,334	94.5%
グラビアインキ	66,633	67,102	67,730	67,086	64,170	94.7%
新聞インキ	27,287	28,553	27,430	32,079	28,332	103.3%
その他	36,338	36,308	34,104	31,066	32,849	96.3%
合計	217,317	227,319	221,509	226,384	218,623	98.7%

化学工業統計月報

紙・板紙、印刷インキとも生産数量はほぼ前期並み、両業界とも国内は成熟市場

トナー生産数量(全世界)

単位:千トン

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年予測	対前年比
モノクロ	140.6	144.7	153.8	162.0	167.1	176.3	105.5%
カラー	5.0	5.7	6.8	8.3	10.6	13.1	123.6%
計	145.6	150.4	160.6	170.3	177.7	189.4	106.6%

単位:千トン

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年予測	対前年比
日本メーカー	70.9	72.4	77.8	83.6	87.1	93.1	106.9%
海外メーカー	74.7	78.0	82.8	86.7	90.6	96.3	106.3%
計	145.6	150.4	160.6	170.3	177.7	189.4	106.6%

データサプライ社「トナーマーケット総覧」

4 . 当中間期の連結業績

4 - 1 . 連結損益推移

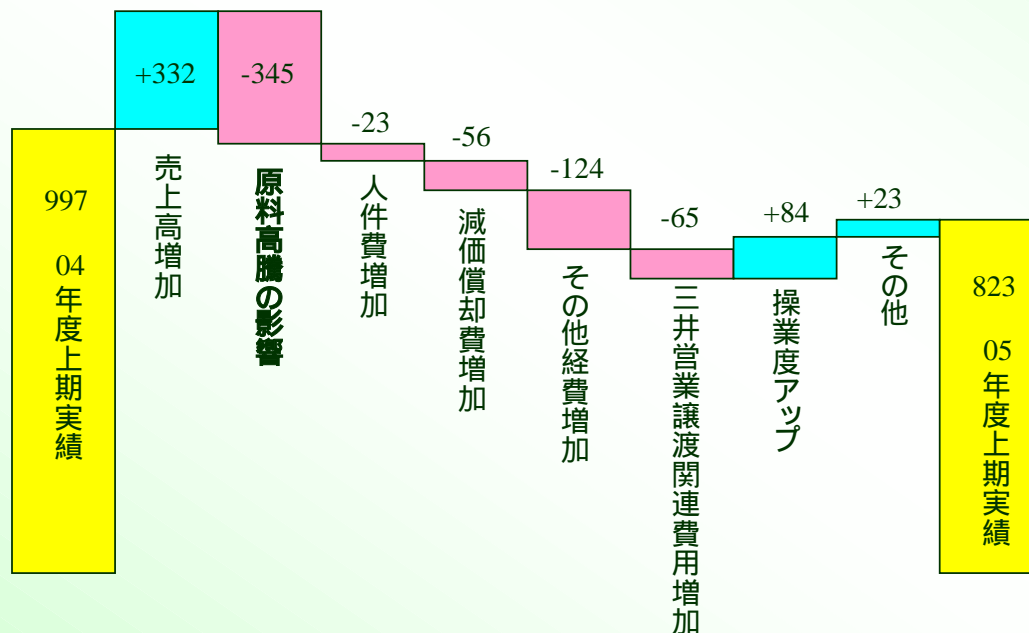
単位：百万円

	03年度中間期	04年度中間期	05年度中間期				
	実績	実績	実績	前年同期比	当初予想	差額	
売上高	10,934	10,568	11,685	10.6%	1,117	11,641	44
営業利益	789	997	823	-17.5%	-174	872	-49
経常利益 対売上高比	761 7.0%	1,001 9.5%	889 7.6%	-11.2%	-112	875 7.5%	14
当期純利益	389	687	634	-7.7%	-53	630	4

1. 売上高：製紙用薬品は前期同期比大幅に増加、印刷インキ・記録材料用樹脂は数量ベースでは横ばい
(7頁「セグメント別概況」)
2. 営業利益：原材料費のアップを売価に転嫁できず減益に(6頁「連結営業利益の増減要因」)
3. 当期純利益：特別利益として遊休固定資産の売却益が発生(12頁「損益計算書」)

4 - 2 . 連結営業利益の増減要因

04年度上期 05年度上期
 997 823百万円
 174百万円 -17.5%



1. 原料アップ分の製品価格への転嫁を進めたが、さらなる原料高騰で345百万円が利益減少要因に
2. 減価償却費増加の内30百万円は三井営業譲渡ののれん代償却分
3. 操業度アップは下期製造設備改造工事期間に対応する在庫生産分

4 - 3 . セグメント別概況 (連結)

単位:百万円

	03年度中間期	04年度中間期	05年度中間期				
	実績	実績	実績	前年同期比	当初予想	差額	
売上数量(トン)							
製紙用薬品	80,110	77,590	84,869	9.4%	7,279	83,224	1,645
印刷インキ・記録材料用樹脂	12,986	11,476	11,629	1.3%	153	11,883	-254
合計	93,096	89,066	96,498	8.3%	7,432	95,107	1,391
売上高							
製紙用薬品	7,390	7,437	8,369	12.5%	932	8,267	102
印刷インキ・記録材料用樹脂	3,544	3,131	3,316	5.9%	185	3,374	-58
合計	10,934	10,568	11,685	10.6%	1,117	11,641	44
(内中国向け輸出)	(12)	(64)	(141)		(77)	(110)	(31)
営業利益							
製紙用薬品	372	702	571	-18.7%	-131	679	-108
印刷インキ・記録材料用樹脂	417	295	252	-14.6%	-43	193	59
合計	789	997	823	-17.5%	-174	872	-49

売上高増減要因

製紙用薬品:

1. 三井化学からの営業権の譲り受けを中心とした乾燥紙力剤の販売増 = +676百万円
2. 中性抄紙新聞用紙向けの表面サイズ剤の拡販 = +114百万円
3. 新規開発商品(インクジェット用耐水化剤、嵩高剤、柔軟剤)の拡販 = +109百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂:

数量ベースでは売上はほぼ横ばい

5 . 0 5 年度業績予想

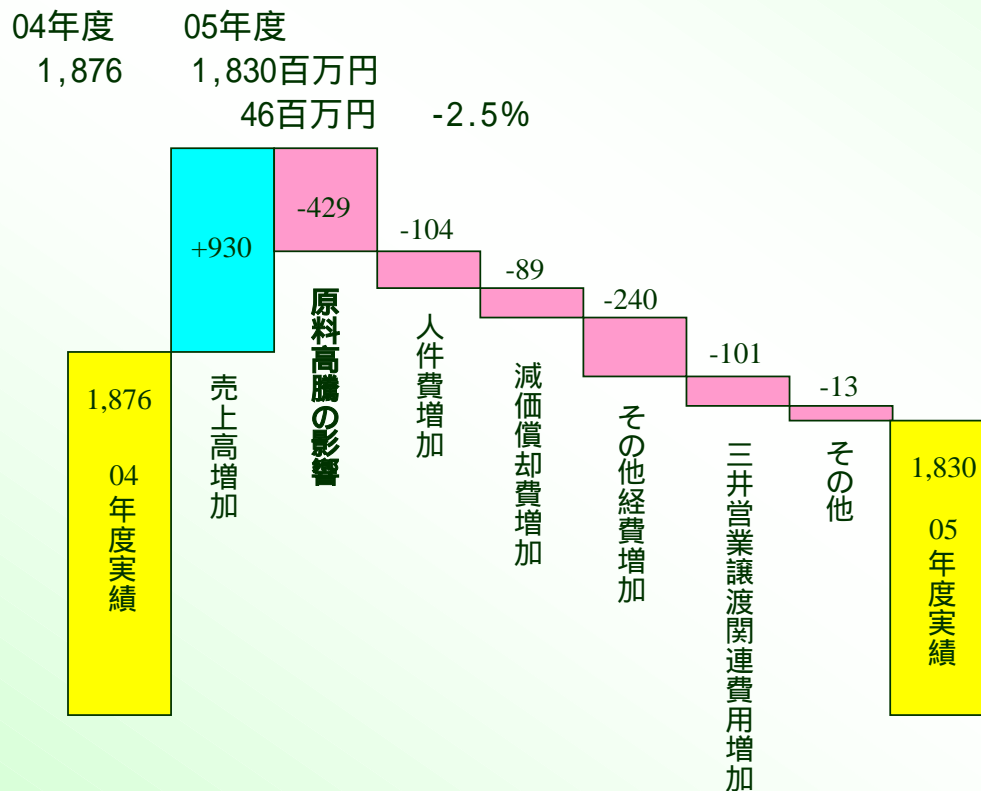
5 - 1 . 年間業績予想 (連結)

単位: 百万円

	03年度	04年度	05年度				
	実績	実績	予想	前年同期比	当初予想	差額	
売上高	21,766	21,685	24,530	13.1%	2,845	24,400	130
営業利益	1,783	1,876	1,830	-2.5%	-46	2,170	-340
経常利益	1,754	1,891	1,900	0.5%	9	2,190	-290
対売上高比	8.1%	8.7%	7.7%			9.0%	-1.2%
当期純利益	296	1,014	1,260	24.3%	246	1,460	-200
ROE	1.8%	5.9%	7.1%		1.2%	8.1%	-1.0%
減価償却費	1,031	1,048	1,152		104	1,210	-58
EBITDA (営業利益 + 償却費)	2,814	2,924	2,982		58	3,380	-398
設備投資額	845	1,439	1,931		492	2,108	-177
一株当たり配当 (円)	8.5	10.0	10.0		0.0	10.0	0.0

原料高騰をいかに製品価格に転嫁するかが焦眉の課題
 原料アップ額は年間で前年度比1,110百万円を見込む

5 - 2 . 連結予想営業利益の増減要因



1. 引き続き原料価格アップの高騰の影響を前年度比429百万円見込む
2. 売上増に加え中国進出等のプロジェクトを支えるため販売費大幅増

5 - 3 . セグメント別業績予想 (連結)

単位:百万円

	03年度	04年度	05年度				
	実績	実績	予想	前年比	当初予想	差額	
売上数量(トン)							
製紙用薬品	160,405	156,368	173,869	11.2%	17,501	172,759	1,110
印刷インキ・記録材料用樹脂	25,390	23,260	24,566	5.6%	1,306	25,230	-664
合計	185,795	179,628	198,435	10.5%	18,807	197,989	446
売上高							
製紙用薬品	14,862	15,197	17,525	15.3%	2,328	17,249	276
印刷インキ・記録材料用樹脂	6,903	6,488	7,005	8.0%	517	7,152	-147
合計	21,765	21,685	24,530	13.1%	2,845	24,401	129
(内中国向け輸出)	(18)	(102)	(321)		(219)	(255)	(66)
営業利益							
製紙用薬品	1,023	1,352	1,371	1.4%	19	1,710	-339
印刷インキ・記録材料用樹脂	759	524	459	-12.4%	-65	462	-3
合計	1,782	1,876	1,830	-2.5%	-46	2,172	-342

売上高増減要因

製紙用薬品:

1. 営業権の譲り受けを中心とした乾燥紙力剤の販売増 = + 1,544百万円
2. 中性抄紙新聞用紙向けの表面サイズ剤の拡販 = + 540百万円
3. 中国工場稼働に向けた製品輸出の増加 = + 214百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂:

オフセット印刷インキ用樹脂・グラビア印刷向け水性インキ用樹脂の拡販

6 . 財務諸表

6 - 1 . 貸借対照表 (連結)

単位:百万円

	前期末	今中間期末	増減		前期末	今中間期末	増減
流動資産	14,632	13,893	-739	流動負債	7,335	7,777	442
現金及び預金	631	313	-318	仕入債務	4,327	4,637	310
売上債権	8,283	8,733	450	社債・借入金	1,398	1,241	-157
棚卸資産	2,344	2,751	407	未払金	1,338	1,355	17
運用資産	2,812	1,511	-1,301	その他	272	544	272
その他	562	585	23	固定負債	2,380	1,914	-466
固定資産	12,578	13,786	1,208	借入金	994	698	-296
有形固定資産	10,626	10,548	-78	退職給付引当金他	1,386	1,216	-170
無形固定資産	35	307	272	負債合計	9,715	9,691	-24
投資有価証券	1,081	1,247	166	資本金	2,000	2,000	0
関係会社等出資金	0	1,038	1,038	資本剰余金	1,566	1,566	0
投資その他の資産	836	646	-190	利益剰余金	13,668	14,076	408
				有価証券評価差額金	261	346	85
				資本合計	17,495	17,988	493
資産合計	27,210	27,679	469	負債・資本合計	27,210	27,679	469
				株主資本比率	64.3%	65.0%	0.7%

1. 有利子負債の返済を進めたことにより、残高は前期末比453百万円減少して1,939百万円に

2. 株主資本比率は65.0%と前期末比0.7%アップ

6 - 2 . 損益計算書 (連結)

単位:百万円

	04年度中間期	構成比	05年度中間期	構成比	増減
売上高	10,568	100.0%	11,685	100.0%	1,117
売上原価	7,469	70.7%	8,579	73.4%	1,110
売上総利益	3,099	29.3%	3,106	26.6%	7
販売費・管理費	2,102	19.9%	2,283	19.5%	181
営業利益	997	9.4%	823	7.0%	-174
営業外損益	4	0.0%	66	0.6%	62
経常利益	1,001	9.5%	889	7.6%	-112
特別損益*	182	1.7%	128	1.1%	-54
税引前利益	1,183	11.2%	1,017	8.7%	-166
法人税等	496	4.7%	383	3.3%	-113
当期純利益	687	6.5%	634	5.4%	-53

05年度中間期特別損益の内訳

固定資産売却益	+ 145百万円
役員退職功労金	- 27
その他	+ 10

主な経費項目 (製造原価と販売費及び一般管理費との合計額)

単位:百万円

	04年度中間期	05年度中間期	差額
人件費合計額	2,209	2,232	23
減価償却費合計額	474	530	56
設備投資額	1,123	772	-351
研究開発費	777	791	14
対売上高比率	7.4%	6.8%	

7. 中国での事業展開について

中国の紙生産数量は、2004年で48百万トン(前年比20%増)と日本の30百万トンを大きく上回り、世界第2位であり(第1位は米国の83百万トン)、今後も高率の成長が予測される。

(本年の上半期(1~6月)の紙生産量も対前年比20%の増加となっている。)

また、品質水準も年々向上し、製紙用薬品へのニーズも高まっており、王子製紙始め日本の大手製紙会社も中国への進出を発表している。

当社は、中国への進出を本格化するために、本年4月13日に生産拠点として現地法人を設立した。

当社の事業計画

1. 工場建設用地

場所: 江蘇省張家港市

(張家港保稅区江蘇揚子江国際化学工業園内)

面積: 約4万m²

2. 事業の概要

生産品目: 製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤 他

生産能力: 約3万トン/年

販売目標: 年商16億円(2008年)

3. スケジュール

2005年4月 現地生産法人設立

2005年6月 工場建設開始

2006年1月 現地販売法人設立(予定)

2006年5月 生産開始(予定)

